

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Yくまーず未来Kazaoka津島		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 1日 ~ R7年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	R7年 10月 1日 ~ R7年 10月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内スペースが広く、活動内容に応じて環境を区分して活用しています。 ・定員20名の利用者により、発達や興味関心の多様性を実感できるとともに、共通の活動を通して子ども同士の関係性が形成される環境となっています。	・室内スペースを広く活用し、また活動内容に応じて環境を区分して使用しています。 ・発達特性や年齢に応じて個別支援から小グループ、集団活動へと段階を踏みながら体験できるよう環境を整え、子ども一人ひとりのペースに合わせた支援を行っています。	・9月から定員を20名から10名ずつの2事業所に変更しました。今後は、子ども一人ひとりに対してよりきめ細かなケアが行えるよう取り組んでいきます。併せて、子どもたちが安心して活動に参加できる環境を整えながら、支援の幅を広げ、より充実した体験の提供を目指してまいります。
2	・定期的に家族参加型の季節イベントを開催し、子ども達だけでなく兄弟や保護者同士も交流できる場を企画しています。	・季節ごとのイベントを通して、子どもたちだけでなく兄弟や保護者同士も交流できる場を企画しています。これにより、保護者同士の交流の機会を設け、家庭と事業所のつながりを深めています。	・地域の方にも参加して楽しんでいただけるよう、今後さらに工夫を凝らしたイベントの開催を目指しています。
3	・自社グループの訪問看護と連携することで、専門職と協働しながら支援を行うことができます。 ・自事業所だけでなく、グループ内の他事業所には専門職が在籍しており、知識や経験の共有を通して職員が学び続けられる環境が整っています。	・訪問看護を併用している児童については、家庭での様子や専門的な視点、多角的な視点による情報を共有しています。 ・さまざまな専門職の意見を取り入れながら支援内容に反映し、改善に努めています。 ・Yくまーず全体で定期的な研修会を開催するとともに、自事業所内でも研修を実施しています。	・さらに細やかで密な連携を図りながら、支援の質の向上に努めてまいります。 ・今後も、研修内容の充実や多職種間の情報共有をさらに強化し、職員の専門性向上と支援の質の向上に努めてまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・定員20名で利用者数が多くなることから、外出支援の機会を十分に確保することが難しい点があります。	・今後は、お出かけなどを通じて社会性を育む活動も提供できるよう、プログラムの充実をさらに図っていきます。	・本社Ystyle旅行業のキャンペーン企画などを活用し、利用者がさまざまなイベントやお出かけに参加できる機会を提供するとともに、家族も参加できる楽しい時間を企画していきたいと考えています。
2	・現状では、地域の方との交流の機会には十分ではありません。	・事業所としては、利用者数が多いことや地域との交流機会が限られていることなどが課題の要因として挙げられます。	・今後は、季節のイベントに地域の方を招待するなど、地域との交流の機会を増やしていきたいと考えています。 ・併設している自社動物園を活用し、地域の方や地域の子どもたちとの関わりをさらに広げていく取り組みを進めてまいります。
3			